

1.17は忘れない



平成26年11月号 阪神淡路20年—1.17は忘れない— イベントガイド

発行：ひょうご安全の日推進県民会議

阪神淡路20年の取組も県内各地で様々な主体により実施されています。11月以降に実施される主なイベント(参加費無料)をご紹介します。詳しくは各主催者にお問い合わせください。

「伝える」

■ 震災復興交流神戸セミナー・総括シンポジウム

神戸市では東日本大震災の復興事業に従事する被災地自治体職員等を招いて、震災復興の現状及び課題解決の糸口について、相互に学び合うセミナーを開催してきた。このたび、同セミナーの集大成となるシンポジウムを開催する。

日 時：平成26年11月15日(日) 13:30~16:30

場 所：こうべまちづくり会館(神戸市中央区元町通)

講演等：安田丑作 神戸大学名誉教授、
立木茂雄 同志社大学社会学部教授 など

問合せ：神戸都市問題研究所 tel078-252-0984

神戸市 震災20年復興・発信事業
震災復興交流神戸セミナー
東日本・神戸復興交流シンポジウム
神戸市中央区元町1-14-1
日時 平成26年11月15日(土) 13:30~16:30
場所 こうべまちづくり会館2Fホール
定員 90名(先着順)
基調講演
① 神戸・震災20年からの復興の取り組み
安田 丑作 氏
立木 茂雄 氏
② 東日本大震災からの復興の取り組み
海老原 敏 氏
パネルディスカッション
コーディネーター：同志社大学社会学部教授 立木 茂雄 氏
パネラー：同志社大学社会学部教授 安田 丑作 氏
神戸大学社会学部教授 海老原 敏 氏
神戸市中央区元町1-14-1
11月、神戸でこころから未来を語りませんか

■ 兵庫県立図書館発！防災フォーラム「小泉八雲朗読の夕べ」

巨大災害への備えが課題となる中、図書館は「防災」を発信することで、知の拠点として地域課題解決を支援する。「稲むらの火」の原作「生き神」を書き、没後110年、来神120年となるラフカディオ・ハーン(小泉八雲)の作品の朗読を上演し、震災の経験と教訓を未来に継承する。

日 時：平成26年11月23日(日) 15:00開演

場 所：兵庫県公館(神戸市中央区下山手通)

出 演：佐野史郎(俳優)、山本恭司(ギタリスト)、小泉凡(小泉八雲ひ孫)

※ふるさと防災特別展示「未来にツタエル。」を県立図書館で開催(11月21日~2月19日)

問合せ：兵庫県立図書館 tel078-918-3367

先づいよう
未来の
夕べ
小泉八雲
朗読の夕べ
11/23(日) 兵庫県公館(兵庫県神戸市中央区下山手通)
開演 15:00(開演15分前)

■ その他の主な事業

日時	事業名	場所	問合せ先
11月7日(金)~	震災メモリアル特別展示「1.17 阪神・淡路大震災20年 伝えよう 未来へ 世界へ」	人と防災未来センター(中央区)	人と防災未来センター tel078-262-5050
11月23日(日) 13:00~16:00	〔あの日から20年〕震災を語り継ぐボランティア交流フォーラム	芦屋市福祉センター(芦屋市)	兵庫県ボランティア協会 tel078-360-8191
1月17日(土)	ひょうご安全の日のつどい(1.17のつどい、メモリアルワーク、交流ひろば等)	兵庫県公館・H A T神戸等	兵庫県復興支援課 Tel078-362-9832

「備える」

■ 看護フェア～防災／減災を考えよう～

「介護の日」の機会を捉えて、「防災／減災を考える」をテーマに、地域での防災活動に関する講演会や簡易トイレの展示等を行う。

日時：平成26年11月9日（日）10：30～15：30

場所：兵庫県看護協会（神戸市中央区下山手通）

内容：講演「地域で取り組む防災活動-武蔵野地域での取り組みから」
小原真理子 日本赤十字看護大学教授

展示コーナー「災害時の簡易トイレ」「高齢者などに優しい食品」等

1日まちの保健室、測定および相談、体験コーナー、相談コーナー

問合せ：（公社）兵庫県看護協会 tel078-341-0240



■ 超巨大災害対策総合シンポジウム

阪神・淡路大震災から20年を迎えるにあたり、震災の経験と教訓が世界の防災対策に果たした役割や「国難」ともなる巨大災害への備えについて討議し、安全で安心な社会の実現に向けた防災・減災対策を提案する。

問合せ：人と防災未来センターtel078-262-5067



名称	国際防災・人道支援フォーラム2015	メモリアル・コンファレンス・イン神戸2015
趣旨	平成17年1月に神戸で採択された国際的な防災指針「兵庫行動枠組」が世界の防災・減災に果たした役割について討議	研究者・実務家・実践家の各々の立場から震災の経験と教訓を今後の巨大災害にどう活かすかを討議
日時	平成27年1月17日（土） 14：00～17：30	平成27年1月20日（火）・21日（水） 10：00～17：30
場所	神戸ポートピアホテル（神戸市中央区港島中町）	神戸国際会議場（神戸市中央区港島中町）
登壇者	マルガレータ・ワルストロム 国連事務総長特別代表（防災担当）、 田中明彦 国際協力機構（JICA）理事長、 河田恵昭 人と防災未来センター長 など	河田恵昭 人と防災未来センター長、 林春男 京都大学防災研究所教授、 テビット・マメン 元ニューヨーク行政研究所長など

■ その他の主な行事

日時	事業名	場所	問合せ先
11月10日（月）～11日（火）	自治体災害対策全国会議	神戸ポートピアホテル（中央区）	ひょうご震災記念21世紀研究機構 tel0781-262-5713
11月12日（水） 10:00～16:30	「巨大津波に備える」シンポジウム	淡路夢舞台国際会議場（淡路市）	兵庫県技術企画課 tel078-362-9246
11月30日（日） 10:00～14:00	広域防災センター実戦デモ	広域防災センター（三木市）	県広域防災センター tel0794-87-2920

「活かす」

■ 兵庫ニューメディア推進協議会 設立 30 周年記念シンポジウム 「災害時におけるメディアの役割～情報の空白を埋める～」

阪神・淡路大震災を受けて平成 8 年に同協議会が実施した調査研究報告の 5 つの提言を検証し、巨大災害への備えに活かす。

日 時：平成 26 年 11 月 17 日(月) 14:00～17:30

場 所：ANA クラウンプラザホテル神戸(神戸市中央区北野町)

内 容：記念講演「巨大災害と情報メディアの役割」

山内直人 大阪大学大学院国際公共政策研究科教授
パネルディスカッション

在阪・在神テレビ局、県・市町の防災担当者

問合せ：兵庫ニューメディア推進協議会事務局 tel078-362-3054



■ 阪神・淡路 20 年シンポジウム「三大震災の復興と教訓～次なる大災害に備えて～」

過去の大震災を通底する教訓から次なる大災害への備えと迅速な復興につなげるため、(公財)ひょうご震災記念 21 世紀研究機構の研究成果をもとに危機における国家及び自治体の対応能力と復興の視点、あり方について提案と議論を行う。

日 時：平成 26 年 11 月 26 日(水) 13:00～17:00

場 所：神戸ポートピアホテル(神戸市中央区港島中町)

内 容：基調講演 御厨貴 東京大学名誉教授

飯尾潤 政策研究大学院大学教授

パネリディスカッション

加藤陽子 東京大学大学院人文社会系研究科教授

牧原 出 東京大学先端科学技術研究センター教授 ほか



■ 1000 人のクロスロード 2014 ～正解はない、決めるのはあなた。

阪神・淡路大震災の貴重な経験や知恵をもとに作られ、次々に厳しい決断を迫られる災害対応シミュレーション・ゲーム「クロスロード」を、神戸・仙台・高知市をはじめ全国各地で同時に行い、大災害に備えて 1000 人の知恵を集結させる。

日 時：平成 26 年 12 月 23 日(火・祝)

13:00～16:30

場 所：神戸国際展示場(神戸市中央区港島中町)

内 容：講演 矢守克也 京都大学防災研究所教授/吉川肇子 慶應義塾大学教授

クロスロード・ワークショップ(神戸・仙台・高知の 3 会場をネットをつないで実施)

問合せ：千人クロスロード実行委員会 tel080-7024-0259



■ その他の主な事業

日時	事業名	場所	問合せ先
12月1日(月) 13:00~18:00	こころのケア国際シンポジウム—災害とこころのケア—	神戸国際会議場 (中央区)	こころのケアセンター tel078-200-3010
1月13日(火)~ 16日(金)	北淡国際活断層シンポジウム	淡路夢舞台国際 会議場(淡路市)	淡路市社会教育課 tel0799-64-2520
1月15日(木)~ 16日(金)	国際復興フォーラム2015	ホテルオークラ 神戸(中央区)	国際防災復興協力機構 tel078-262-6041
1月18日(日)	阪神・淡路大震災復興20年特別シンポジウム	神戸ポートピア ホテル(中央区)	国際協力機構(JICA) 関西Tel078-261-0341
2月10日(火) 13:00~17:10	21世紀文明シンポジウム 「減災へあすへの備え 次なる大災害と危機管理」(仮)	神戸朝日ホール (中央区)	ひょうご震災記念21世紀研究機構 tel0781-262-5713

〔お知らせ〕

室内安全・備蓄推進員の募集

ひょうご安全の日推進県民会議では、住民の防災・減災意識を高め、災害時の被害の軽減を図るため、「室内安全・備蓄推進員」の登録を行っています。

家庭で室内安全・備蓄を実践いただくとともに、お住まいの地域でその必要性を呼びかけていただく啓発運動を推進する方を募集しています。詳しくは、「ひょうご安全の日公式サイト」をご覧ください。 問合せ：兵庫県復興支援課 tel078-362-9832

フェニックス共済が給付対象を拡充！
共に安心を育みましょう！

兵庫県住宅再建共済制度(フェニックス共済)では、「住宅再建共済」に、8月1日から「一部損壊特約」制度を創設しました。ワンコインの上乗せで、より幅広い自然災害をカバー。より身近な安全安心のツールとして機能を充実！減災にも貢献します。

【フェニックス共済の特色】

区分	年額負担金	被害認定	最高給付金
住宅再建共済	5,000円	半壊以上	600万円
一部損壊特約 (8月1日開始)	500円	一部損壊 (被害割合10%以上)	25万円
マンション共用部分	2,400円	半壊以上	300万円
一部損壊特約 (8月1日開始)	250円	一部損壊 (被害割合10%以上)	12.5万円
家財再建共済	1,500円	半壊以上または 床上浸水	50万円

※マンション共用部分の負担金と給付金は住戸数を掛けた額となります
※住宅再建と家財再建の同時加入や複数年一括払いにより割引あり

- ▶地震、津波、風水害、豪雪、竜巻などあらゆる自然災害が対象です
- ▶地震保険や他の共済に入っているも加入でき、給付が受けられます
- ▶住宅の築年数や規模等に関係なく、定額負担で定額給付です

★申込書配布

県内の郵便局、最寄の県民局・市町、共済基金事務局

★申し込み方法

郵送又はインターネット(スマートフォンからも申し込みます)
<http://phoenix.jutakusaiken.jp>



【お問い合わせ】 共済基金事務局 Tel078-362-9400(平日 9:00~17:00) Fax078-362-9405

発行 ひょうご安全の日推進県民会議事務局(震災20周年事業担当)
兵庫県防災企画局復興支援課内 tel078-362-9832 Fax078-362-4459
facebook (<https://www.facebook.com/shinsai20>) Twitter (https://twitter.com/117hyogo_20)